

2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年10月13日

上場会社名 株式会社きよくとう 上場取引所 東  
 コード番号 2300 URL http://www.ci-kyokuto.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧平 直  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 弓削 道哉 (TEL) 092-503-0050  
 四半期報告書提出予定日 2020年10月15日 配当支払開始予定日 2020年11月20日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の業績 (2020年3月1日~2020年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	2,912	△23.8	△46	—	38	△90.4	24	△89.3
2020年2月期第2四半期	3,819	△2.6	351	△30.0	400	△27.3	231	△30.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年2月期第2四半期	4.71		—					
2020年2月期第2四半期	43.95		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	5,043	3,573	70.9
2020年2月期	4,913	3,583	72.9

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 3,573百万円 2020年2月期 3,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	5.50	—	5.50	11.00
2021年2月期	—	3.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年2月期の業績予想 (2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	△21.4	△384	—	△200	—	△220	—	△41.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年2月期2Q	5,551,230株	2020年2月期	5,551,230株
2021年2月期2Q	289,999株	2020年2月期	289,999株
2021年2月期2Q	5,261,231株	2020年2月期2Q	5,261,246株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の影響により、厳しい状況が続いております。2020年4月7日付で政府による緊急事態宣言が発出されたことに伴い、経済活動に大きな制約を受け、個人消費を中心に景気は急速に悪化し、緊急事態宣言解除後も、外出自粛や在宅勤務等の感染拡大防止策が継続してとられ、加えて、7月の豪雨災害を含めた天候不順の影響もあり、極めて厳しい事業環境となりました。

当社におきましても、工場休業日の追加と全店舗の営業時間短縮や一部店舗の休業及び販促活動の自粛等の対策を行い、お客様並びに従業員の安全と健康を最優先に感染防止策を講じて営業を継続いたしました。

このような経営環境の中、当社は、春の衣更えの最需要期に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策による外出自粛や在宅勤務等の影響を受け、来店客数の減少とスーツやワイシャツ等のビジネスウェアを中心としたクリーニングの入荷が大幅に減少したことにより、売上高が大幅な減収となりました。

営業面においては、「スニーカークリーニング」専用の水洗機・乾燥機を増設し、店舗では、スニーカー専用棚を順次設置する等、お客様に低価格できれいに仕上ることをPRし、販売強化に努めております。加えて、7月からは、全社統一のカラーチラシを使用した販促と特別会員の「新規入会キャンペーン」を実施し、需要拡大と特別会員数の増大に努めました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は2,912,320千円と前年同四半期と比べ907,121千円(23.8%)の減収となりました。

利益につきましては、営業損失は46,805千円と前年同四半期と比べ397,960千円(前年同四半期は営業利益351,155千円)の減益、経常利益は38,526千円と前年同四半期と比べ361,573千円(90.4%)の減益、四半期純利益は24,781千円と前年同四半期と比べ206,487千円(89.3%)の減益となりました。

なお、営業外収益に新型コロナウイルス感染症対策として実施した休業や営業時間短縮に伴う雇用調整助成金29,605千円を計上しております。

また、当社の属するホームクリーニング業界は、通常の場合、春の衣替えの時期に重衣料が洗濯物として出されるため春場に最需要期を迎えます。したがって、当社の売上高は、第1四半期に偏る傾向があり、四半期の業績に季節的変動があります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて164,889千円増加し、1,241,788千円となりました。これは、現金及び預金が183,229千円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて35,005千円減少し、3,801,451千円となりました。これは、差入保証金が18,118千円、無形固定資産が12,762千円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて129,883千円増加し、5,043,239千円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて27,529千円減少し、717,353千円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が50,012千円、未払法人税等が17,723千円増加したものの、未払金が67,393千円、賞与引当金が11,070千円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて167,090千円増加し、752,215千円となりました。これは、長期借入金が178,815千円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて139,560千円増加し、1,469,568千円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて9,676千円減少し、3,573,671千円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が5,521千円、利益剰余金が4,155千円減少したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ213,229千円(30.2%)増加し、当第2四半期累計期間末には919,255千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果得られた資金は、27,693千円(前年同四半期累計期間比92.5%減)となりました。

収入の主な内訳は、減価償却費50,430千円、税引前四半期純利益36,094千円などであり、支出の主な内訳は、賞与引当金の減少額11,070千円などです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果使用した資金は、9,610千円(前年同四半期累計期間比95.4%減)となりました。

収入の主な内訳は、定期性預金の払戻による収入60,000千円などであり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出57,674千円、定期性預金の預入による支出30,000千円などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果得られた資金は、195,146千円(前年同四半期累計期間比221.8%増)となりました。

収入は、長期借入れによる収入300,000千円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出71,173千円、配当金の支払額28,757千円などです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を織り込んでおりませんでした。第2四半期累計期間の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、修正させていただきました。

詳細につきましては、本日発表の「2021年2月期第2四半期業績予想値と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	761,025	944,255
売掛金	106,457	99,661
商品	23,632	22,643
原材料及び貯蔵品	29,506	28,467
前払費用	76,677	73,625
その他	79,599	73,134
流動資産合計	1,076,899	1,241,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	284,540	277,979
土地	1,801,726	1,801,726
その他(純額)	62,376	69,923
有形固定資産合計	2,148,643	2,149,629
無形固定資産		
のれん	50,548	46,992
顧客関連資産	99,750	96,229
その他	44,067	38,382
無形固定資産合計	194,367	181,605
投資その他の資産		
投資有価証券	542,630	534,415
差入保証金	510,986	492,867
その他	448,231	451,326
貸倒引当金	△8,403	△8,393
投資その他の資産合計	1,493,446	1,470,216
固定資産合計	3,836,456	3,801,451
資産合計	4,913,356	5,043,239
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	31,712	22,633
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	104,004	154,016
未払金	373,113	305,720
未払法人税等	10,500	28,223
賞与引当金	23,909	12,839
資産除去債務	5,859	10,377
その他	95,784	83,544
流動負債合計	744,883	717,353
固定負債		
長期借入金	160,318	339,133
退職給付引当金	138,452	136,694
役員退職慰労引当金	123,456	126,243
資産除去債務	100,556	90,480
その他	62,341	59,662
固定負債合計	585,124	752,215
負債合計	1,330,008	1,469,568

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金	395,973	395,973
利益剰余金	2,869,344	2,865,189
自己株式	△166,918	△166,918
株主資本合計	3,653,492	3,649,337
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△70,144	△75,666
評価・換算差額等合計	△70,144	△75,666
純資産合計	3,583,348	3,573,671
負債純資産合計	4,913,356	5,043,239

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	3,819,442	2,912,320
売上原価	1,043,918	854,478
売上総利益	2,775,523	2,057,842
販売費及び一般管理費	2,424,368	2,104,647
営業利益	351,155	△46,805
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	6,212	5,464
受取家賃	25,489	25,913
雇用調整助成金	—	29,605
その他	19,197	26,294
営業外収益合計	50,905	87,284
営業外費用		
支払利息	646	911
賃貸借契約解約損	1,291	815
その他	22	225
営業外費用合計	1,960	1,952
経常利益	400,100	38,526
特別利益		
固定資産売却益	—	377
特別利益合計	—	377
特別損失		
固定資産売却損	1,111	—
固定資産除却損	3,341	2,039
減損損失	—	769
投資有価証券評価損	19,378	—
特別損失合計	23,832	2,808
税引前四半期純利益	376,268	36,094
法人税等	144,999	11,313
四半期純利益	231,268	24,781



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	376,268	36,094
減価償却費	42,629	50,430
のれん償却額	2,896	3,556
減損損失	-	769
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	△10
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△12,685	△1,757
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,654	2,787
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,333	△11,070
受取利息及び受取配当金	△6,218	△5,469
支払利息	646	911
売上債権の増減額(△は増加)	△23,734	6,795
たな卸資産の増減額(△は増加)	△614	2,028
仕入債務の増減額(△は減少)	1,906	△9,079
投資有価証券評価損益(△は益)	19,378	-
固定資産売却損益(△は益)	1,111	△377
固定資産除却損	3,341	2,039
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,577	15,697
その他の資産の増減額(△は増加)	△88,074	7,397
その他の負債の増減額(△は減少)	94,223	△84,032
小計	416,974	16,711
利息及び配当金の受取額	6,218	5,469
利息の支払額	△660	△993
法人税等の支払額	△54,952	△6,740
法人税等の還付額	-	13,246
営業活動によるキャッシュ・フロー	367,580	27,693
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期性預金の預入による支出	△30,000	△30,000
定期性預金の払戻による収入	60,000	60,000
事業譲受による支出	△168,575	-
有形固定資産の取得による支出	△77,635	△57,674
有形固定資産の売却による収入	3,692	400
無形固定資産の取得による支出	△321	△493
貸付けによる支出	△300	-
貸付金の回収による収入	50	200
差入保証金の差入による支出	△10,449	△4,192
差入保証金の回収による収入	14,836	22,149
投資活動によるキャッシュ・フロー	△208,703	△9,610
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	150,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△46,169	△71,173
リース債務の返済による支出	△14,070	△4,922
自己株式の取得による支出	△15	-
配当金の支払額	△29,096	△28,757
財務活動によるキャッシュ・フロー	60,649	195,146
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	219,526	213,229
現金及び現金同等物の期首残高	963,712	706,025
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,183,238	919,255

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

当社は、ホームクリーニング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当社は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に伴い、工場休業日の追加と全店舗の営業時間短縮や一部店舗の休業及び販促活動の自粛等の対策を行っております。

5月25日に全都道府県で緊急事態宣言が解除となり、当社では、6月以降の業績回復に向けて段階的に販促活動を再開しております。

このような状況から、今後は、新型コロナウイルス感染症が収束に向かうことを前提に、売上高は2021年2月期末にかけて徐々に回復に向かうものと仮定し、固定資産の減損会計の適用及び繰延税金資産の回収可能性等に関する会計上の見積りを行っております。

なお、将来における業績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。